

鹿角市河川漁業協同組合植樹祭および鹿角市立大湯小学校森林教室

令和2年9月24日（木）

台風が近づく中、幸運にも天気にも恵まれ、署員6名で植樹祭に参加しました。

この植樹祭は毎年鹿角市河川漁業協同組合が、米代川上流域の牧草地跡を森林に戻すことを目的として、平成20年から鹿角市の民有地で行っている取り組みで、今年で12回目となりました。一緒に参加した鹿角市立大湯小学校の5年生25名と一緒に、今年もサクラとブナを合わせて700本植えました。

植樹した樹木が成長し、米代川および日本海に豊かな漁場を育んでくれることを期待したいです。

午後は、中滝ふるさと学舎にて、当署職員による森林教室を開催しました。

森林教室では、はじめに森林が持つ様々な働きについて学んでいただきました。

その後、児童たちに、林業体験をしてもらおうと測樹作業を体験してもらいました。私たち職員が実際に使っている道具を使用し、ふるさと学舎正面に生育する針葉樹や広葉樹を計測してもらいました。最初は、戸惑っていたものの、数本測ると慣れたようで、班内で話し合いながら、積極的に測定を行っていました。その後、職員が測った数値を発表した際には、数値が発表される度に一喜一憂する児童達の様子が見受けられました。最後に、測った木の中で一番大きなものを使用する場合、家を一軒建てるのに何本必要になるかというクイズを行いました。

鹿角市河川漁業協同組合植樹祭や森林教室を通じて、森林の役割や木材の大切さなどを学んでいただけたようです。

今後も、当署はこのようなイベントを開催し、森林・林業の指導及び普及に努めてまいります。



植樹祭開会式



植樹の様子



樹高の測定



直径の測定